

社会福祉法人おおなん福祉会

SDG s 宣言

おおなん福祉会は「輝いて いのち」の理念を掲げ、誰もが日々生き活きと安心して暮らせる共生社会の実現を目指し歩んできました。

地球全体で取り組むべき SDG s の考え方は、私たちの理念と共鳴するものであり、笑顔あふれる地域・国際社会をつくることに微力ながら好影響を与えられるよう取組んで参ります。

誰もが安心して心豊かに暮らせる輝かしい未来社会を創造するために、おおなん福祉会は SDG s に取組みます。



2022年9月15日

社会福祉法人 おおなん福祉会
理事長 山中 康樹

SDG s の達成に向けた取組



【貧困をなくそう】

関係機関とも連携して、支援を必要とする方に適切なサービスを提供し、社会福祉法人の使命を果たします。

【飢餓をゼロに】

利用者様の状況に応じた食事を提供するとともに、配食サービスを通じて安全かつ栄養のある食事を届けます。

【すべての人に健康と福祉を】

誰もが生きがいを持ち、安心して生活できるようサービスを提供するとともに、地域づくりを行います。また、職員の飲酒運転の撲滅及び安全運転を徹底をします。

【質の高い教育をみんなに】

職場実習・職場体験・ボランティアを積極的に受け入れ福祉教育の向上に努めます。また、OJT や研修を通じて職業スキルの向上を図ります。

【ジェンダー平等を実現しよう】

キャリアパス制度に基づき、性別に関係なくリーダーシップの機会を確保します。また、ハラスメントに対しての意識を強め、防止の為の適切な措置を講じます。



【働きがいも経済成長も】

障がい者・高齢者・外国人技能実習生など多様な人材を同一労働同一賃金で雇用します。また、臨時職員の正規職員への登用を積極的に進めます。

【人や国の不平等をなくそう】

認知症の方もそうでない人も、障がいがあっても無くても、支える人と支えを受ける人など、分け隔てなく共に支え合い、様々な人の能力が発揮され、活力のある共生社会を目指します。

【つくる責任つかう責任】

嗜好調査の結果に基づいた食を提供し残食や売れ残りを減らします。規格外野菜の活用など食材を有効に利用します。

【気候変動に具体的な対策を】

BCP を作成、運用し平時から自然災害に備えます。また、一部事業所を障がいのある方の避難場所として開放します。

【平和と公正をすべての人に】

高齢者・障がいのある方への虐待防止・早期発見に努めます。また、コンプライアンスの遵守を徹底し、中立公正な運営を行います。

持続可能な開発目標 SDGs エス・ディー・ジーズとは

持続可能な開発目標 SDGs Sustainable Development Goals とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。